

令和4年度 辻国際奨学財団奨学金申請書

申請者の氏名等 ※氏名は漢字の場合は漢字で、漢字以外の場合はカタカナで記入する。

フリガナ					写 真 (カラー) (6ヵ月以内に撮影した 写真を貼付) 4.5×3.5cm、 上半身、正面、脱帽 裏面に氏名、大学名、国籍を 記入のこと	
氏 名						
パスポート 記載の英文						
国 籍		性 別	男 ・ 女			
生年月日	年	月	日生	年 齢	[2022.4.1現在]	歳
					配 偶 者	有 ・ 無
自国住所						
現住所	〒()				最寄駅	線 駅
					バス / 徒歩	分
TEL	※必ず連絡が取れるものを記入				所要時間 (自宅→大崎駅)	分
Email	@				※必ず連絡が取れるものを記入	

在籍する大学に関すること (**2022年4月の状況を書く**) ※通常の学年制と異なる場合は、その旨記載する

在籍大学 または 在籍大学院	□大学 □大学院	□学部 □修士 □博士 () 年
	□学部 □研究科	入学年月 年 月
		卒業予定 年 月
	□学科 □専攻	来日年月日 年 月 日
		今までの日本在留年数 (延べ) 年 ヲ月
指導教官	[フリガナ] 氏 名	所属 : 役職名 :

留学生 担当部署 (申請窓口 が記入)	担当部署名	TEL
	担当者名	Email @

【記入上の注意】①黒のボールペン（消えるペンは不可）を使用し、日本語で漏れなく正確に記入すること ②数字は算用数字を用い、アルファベットは活字体で読みやすく記入すること ③□は該当するものにマークすること

履 歴 書 ・ 身 上 書

氏名	奨期 学 希 望 間	1. 1 年 (2022.4～2023.3) …来春卒業して進学しない方 2. 1 年半 (2022.4～2023.9) …9 月入学の方 3. 2 年 (2022.4～2024.3) …上記以外 (来春卒業後、現大学の 上級課程進学予定者を含む)
----	------------------------	---

学歴等 ※学歴は高校入学以降、現在に至るまでを、日本語学校も含め時系列で記入。職歴は正社員のみ記入する

学 歴	期間	学校名	課程	所在地 (国と都市名)	専攻	正規年数	卒業・中退
	年 月～ 年 月	高校				年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～2022 年 4 月現在		学・修・博			年	在学中・在学予定
進 路	2022 年 4 月時点で在学している課程卒業後の予定	<input type="checkbox"/> 現在の大学の次の課程に進学予定： 1. 修士 2. 博士 <input type="checkbox"/> 日本の他大学へ進学希望 <input type="checkbox"/> 日本で就職希望 <input type="checkbox"/> 帰国して進学希望 <input type="checkbox"/> 帰国して就職希望 <input type="checkbox"/> 日本以外の国 () へ留学希望 <input type="checkbox"/> その他 ()					
職 歴	期間	勤務先・企業名	所在地 (国と都市名)	職務内容・部署名・役職名			
	年 月～ 年 月						
	年 月～ 年 月						
兵 役	過 去	年 月 ～ 年 月	将来の予定	年 月 ～ 年 月 予定 ・ 未定			
ブ ラ ン ク	年 月～ 年 月	理由					

趣味・特技等 ※「賞」は論文・研究発表の受賞歴、芸術系は専攻科目に関する受賞歴を書く

そ の 他	賞	趣味・特技	資格・免許

家族状況 (2022 年 4 月 1 日現在) ※兄弟姉妹、配偶者、子供も記入する。死亡、離別の場合はその旨記載する

家 族 状 況	氏 名	続柄	年齢	現 住 所	勤務先名と部署 役職・学生名・学校名 (具体的に、詳しく記入すること)	年収 (円換算)
		父				万円
		母				万円
						万円
						万円
						万円

経済状況

※すべて漏れなく正確に記入し、金額がゼロの場合は空欄にせず「0」と記入すること。計算間違いがないように注意すること。
令和4年度見込みには、辻国際奨学財団からの奨学金は記入しないで算出する。

収入内訳 (月平均金額を記入する)		支出内訳	
令和3年度の状況	仕送り	月額 _____ 円 うち授業料充当分 (月額 _____ 円) 送金者名 () 申請者との関係 ()	授業料分を引いた仕送り月額 _____ 円 月額 _____ 円
	奨学金	奨学金の名称: () 期間: _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月	月額 _____ 円
	その他収入	<input type="checkbox"/> アルバイト 内容 () 時給 () 月額 _____ 円 <input type="checkbox"/> その他 () 月額 _____ 円	月額 _____ 円
	月平均収入 計 月額 _____ 円		月平均授業料・住居費 計 月額 _____ 円
令和4年度見込み	仕送り	月額 _____ 円 うち授業料充当分 (月額 _____ 円) 送金者名 () 申請者との関係 ()	授業料分を引いた仕送り月額 _____ 円 月額 _____ 円
	その他収入	<input type="checkbox"/> アルバイト 内容 () 時給 () 月額 _____ 円 <input type="checkbox"/> その他 () 月額 _____ 円	月額 _____ 円
	月平均収入 計 月額 _____ 円		月平均授業料・住居費 計 月額 _____ 円
	収入内訳 (月平均金額を記入する)		支出内訳
		授業料: _____ 円 免除が現時点で確定している場合、上記金額は、 <input type="checkbox"/> 一部減免後 (減免額 _____ 円) <input type="checkbox"/> 全免後 ↓ そのうち、仕送りで支払う額: _____ 円 ↓ 仕送りで支払う額を引いた、授業料本人負担額: _____ 円 月額 _____ 円	
		授業料免除が未確定の場合: <input type="checkbox"/> 申請中(予定)→申請種類 <input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 一部減免 <input type="checkbox"/> 免除の種類は大学側が決定 <input type="checkbox"/> 申請予定なし (理由: _____) <input type="checkbox"/> 免除制度なし	
		同居人: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (名)・申請者との関係 () 居住形態: <input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 () 月額 _____ 円	
		併願状況 令和4年度のため大学推薦以外に個人で他の奨学金に <input type="checkbox"/> 応募していない <input type="checkbox"/> 応募している (複数ある場合は余白に記入) 申請中の他奨学金 名称: _____ 月額 _____ 円 期間: _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 結果発表予定: _____ 年 _____ 月 _____ 日 ※併願している他の奨学金に採択された場合、当財団を優先する方のみ応募可能です <input type="checkbox"/> 了解しました	

留学の目的および将来の進路

在籍大学		氏名				国籍			
日本留学の 動機と目的									
将来の 進路									

【記入上の注意】

※本人自筆にて日本語で記入すること

※「日本留学の動機と目的」については、何のために日本に来て勉強するのかを明確に書くこと

※「将来の進路」については、日本での留学の成果を将来どのように生かすか、現在の研究（専攻）との関連性を含めて、希望する進路を書くこと

公益財団法人辻国際奨学財団 理事長 殿

推 薦 書

記入者	大学名		所属	
	役職		氏名	㊞
	推薦する学生との関わり		記入日	年 月 日

下記の学生を辻国際奨学財団奨学生に推薦します。

被推薦者	学生氏名	
学業面		
人物面		
経済的困窮度・将来性・その他特筆事項等		

※すべて自筆にて記入の上、記入者本人による厳封にてご提出をお願いいたします

誓 約 書

年 月 日

公益財団法人辻国際奨学財団

理事長 辻 信太郎 殿

所属大学

氏 名

私は、応募書類に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。

また、貴財団の奨学生募集要項に記載された内容を理解し、奨学生に採択された場合は、勉学・研究に励むとともに、貴財団が毎月開催する交流会その他の行事・事業（交流旅行・会報誌の編集刊行等）に参加・協力し、相互理解と友好親善に努めることを誓約いたします。

なお、貴財団の認める理由なく交流会を欠席した場合には、奨学金の支給が受けられなくても異議ありません。